

第1回学校訪問キャラバン（10月25日）を行いました

【学校訪問キャラバンの目的とは】

「いじめ見逃しゼロ県民運動」の個人サポーター等が県内8つの中学校・高等学校を訪問し、児童生徒に対して、悩んだときの相談窓口やいじめの対処の仕方、いじめ防止のメッセージ等と呼び掛けます。

【県庁にて学校訪問キャラバン出発式を行いました】

米山知事から、「いじめに遭ったときは、周りの誰かにシグナルを発したり、相談したりしようというメッセージを伝え、いじめで悩んでいたり、苦しい思いをしたりしている子どもに心へ勇気と希望を与えてほしい」との激励の言葉がありました。



「深めよう 絆 にいがた県民会議」宮 衛 座長の挨拶



米山知事の激励の言葉



山岸 直人 新潟県警本部長の挨拶

【県立六日町高等学校を訪問しました】



ジャックポットの二人が相談窓口カードを、県警察本部少年課の田中 茂雄 いじめ対策係長がいじめ防止のチラシを、メッセージを添えて代表生徒に手渡しました。

【南魚沼市立大和中学校を訪問しました】



上越教育大学の学生から、中学生のときのいじめの体験をインタビュー形式で語っていただきました。

両親や教師に相談したことで、「自分を守ってくれる・味方になってくれる」という安心感が生まれたこと、担任が熱心にかかわり、信頼感をもてたこと等、いじめを乗り越えた経験を伝えていただきました。

ジャックポットの二人からは、「図形から漢字探し」等、児童生徒とのやりとりを交えたお話をいただきました。「見つけた漢字や数は一人一人違っている。だから、一人一人違ってよい」「自分と違う相手のよさを見つけることがいじめをなくすことにつながる」等、いじめ防止に関するメッセージが伝わりました。

